

突然の受診 広報げろ 2010.3

突然の受診

◎救急車で搬送されてくる患者の中には持病の心臓病や、がんなどの病状が急に悪化した方がおられます。このような方が運ばれてきたとき、病院で医師が診察する際に最も重要で頼りにするのが病歴です。普段病院を利用しておられる方であればその病歴が大変参考になるのですが、いつもは遠くの総合病院などに通院し急な病状の悪化で地元の病院にかかれますと、いままでどのような治療を受けておられたのかわからないので、場合によっては治療にてまどり救命に大きな支障が出る場合があります。

◎けがによる急な受診ならともかく（けがによる受診でも普段の受診歴があると助かりますが）持病を持った方は日頃定期的に近くの病院を受診し、病歴をのこしておいていただくと診療する側では大変助かります。またご本人にとっても、命にかかわることとして心得ておいていただくとより安心できるのではないのでしょうか。

◎市立金山病院では内科系、外科系の総合診療を行っています。各医師の専門を生かしながら対応していますが対応できない場合もあります。そのような場合責任を持ってその専門病院を紹介しています。紹介しますとその病院と病病連携ができますので、病歴を紹介し合い、経過観察や投薬などは近くの病院でできるなど、遠くの病院まで通わなくてもよい利点が生まれます。何といても大きな利点はいざという時のために近くの病院に病歴が残るといことです。

◎市立病院では胃がん、大腸がん、乳がんなどの手術を積極的に行い地域のご要望にお応えしています。これは、手術や麻酔のできる外科医がいなければ救急医療に責任が持てないこと、手術ができない病院には外科医が来ないことが大きな理由です。市立病院では困難な手術は、関連する専門病院を紹介し、手術は市立病院の外科主治医が一緒になって行い、また地域に戻って療養される際の主治医としてかわりを持たせていただいています。

このように市立病院の医師は常に専門病院と連絡を取り合っていますので市立病院を受診しながら専門医の医療を有効に利用していただけます。

◎一月、新病院の建設に向けてのワークショップがありました。その中で地域住民が新病院建設のためにできることについては多くの方が「まずは近くの病院を利用すること」という意見を寄せられました。病院の運営は皆さんの受診料によって成り立っています。しかし、地域の病院の果たす大きな役割の一つである救急医療は赤字です。これを支える補助金もありません。救急医療を支えるためには普段、まずは近くの病院を利用していただくことが病院を支える大きな力となります。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦

◎下呂市立金山病院では看護師、看護助手を募集しています。地域の医療を地域出身者で支えませんか。